



五中だより

自分には
何ができるか

第1号(4月)
令和6年4月19日(金)
調布市立第五中学校
校長 小坂 力

校長先生のお話 【はじめに心がけること】

日ごろから本校の教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。おかげさまで、本年度を無事にスタートすることができました。子供たちが、学校生活に様々な期待をもって主体的に取り組んでいけるよう、支援してまいります。

さて、入学式の前日に始業式がありました。その際、次のような話をしました。

サッカーJリーグの川崎フロンターレは、田中碧選手や三苫薰選手、谷口彰悟選手など、日本代表で活躍する様々な世界的な選手を輩出しています。2020年で引退した中村憲剛さんは、川崎フロンターレ一筋で、日本代表でも活躍しました。彼は選手生活の晩年、後に世界で活躍することになる、若手として入団してきた当時の選手に共通することがあると語っていました。それは「傾聴力」いわゆる聴く力です。

また、修道女マザーテレサの有名な言葉で「愛の反対は憎しみでなく無関心」とあるように、無視すること、関心を示さないことは、「聴く」ことの反対の行動と捉えられます。

これらのことから「聴く」ことの良さは、自分の考えをより強固にして成長に繋げられることと、相手を大切にしている姿勢を示すことという2点があげられると思います。

普段みなさんはどういう姿勢で人の話を聴いていますか？

新しい学級ではじめに心がけてほしいことは、先生や友達の話を目で、耳で、心で「聴き合う」行為です。ぜひ、「聴く」「聴き合える」集団作りを目指し、自分の成長とともに、仲間の成長を喜べるよう心がけていきましょう。

始業式でも子供たちは、真剣に話を聴いていました。本当に今後が楽しみになる姿でした。今学期スタートしてからの子供たちの様子を見ていると、「聴き合う」ことが様々な場面で見受けられます。そのことから、仲間を大切にしようとする空気を作り出していると思っています。今年度も子供たちの成長のために、様々なご支援を、どうぞよろしくお願ひします。

日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。本校に着任し4年目となりました校長の小坂力（こさかつとむ）です。

教科は保健体育、部活指導は長年サッカー部を指導して参りました。自分が指導してきた思いや実践、教え子との交流など、自分の経験・財産を全て本校の学校経営に活かしていきたいと考えています。

本校の在籍数は1年生232名、2年生256名、3年生232名の計720名です。

この数は単なる数ではなく、「命の数」です。生徒一人一人の命に「生きる力（徳・知・体）」をバランスよく育んでいくことが本校の使命と考えています。そのため、一人一人を大切にし、良さを認め、一人一人の成長を支援していくことが大切と思っています。

本校の教育目標は次の通りです。

- (1) 徳「思いやりと助け合う心をもとう」
- (2) 知「自ら学ぶ人になろう」
- (3) 体「心と体を鍛えよう」

これらの教育目標の達成のために目指す学校像を以下の通りとしました。

- ★生徒一人一人に居場所があり
- ★安心・安全で
- ★自分の力を伸ばせる学校

1年間どうぞよろしくお願ひします。



令和六年度入学式

4月9日(火)、第56回入学式を執り行いました。期待に胸をふくらませた232名の新入生を迎えて、新しい第五中学校が始まりました。



……私が一番楽しみにしていることは、仲間との思い出を作ることです。私たちは232名という人数の多さで、多少不安がありますが、たくさんの仲間がいることで、いい関係を築いていき、たくさんの思い出を作れると思います。この人数の多さを活かして、上級生や友達と協力し、いろいろなことに挑戦して、充実した中学校生活にしたいです。……新入生『誓いの言葉』



新入生歓迎の会



部活動ガイダンス

部活動ガイダンスでは各部活が工夫を凝らして活動の紹介をしました。どの部活からも楽しく活動している様子がよく分かりました。新入生を迎える温かい雰囲気が伝わるイベントになりました。



□■4月の指導の重点■□ 「基本的な生活習慣を確立して 秩序ある学校を目指す」

- 1 時間を大切にする。
- 2 規則を守り、マナーを向上する。
- 3 時と場に応じたていねいなあいさつを行い、
気持ちよい学校生活を送る。

ご入学おめでとう
ございます



五チュン太です
よろしくおねがいします！

〈学校住所・電話番号〉
〒182-0035 調布市上石原3丁目27番地1
電話 042 (484) 1311
ホームページ URL
<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/>